

1. 専門研究会の名称

「体外計測に関する標準計測法の策定に関する専門研究会」

2. 設置趣旨

わが国では、これまで、主として職業被ばく管理の一環として内部被ばく線量の測定が行われてきたが、東京電力福島第一原子力発電所事故を契機として、福島県内各地の医療機関や市町村の関連施設等にホールボディカウンタが設置され、住民等の内部被ばく測定が実施されるようになってきた。これに伴って、住民を対象とした内部被ばく線量測定のあり方についても一定の考え方を取りまとめる必要性が関係者の間で認識されてきており、日本保健物理学会が先頃取りまとめた「福島第一原子力発電所事故に関する放射線防護上の課題」においても内部被ばく線量測定、評価方法に関する標準の整備を学会が取り組むべき課題の一つに掲げられている。

このようなことを背景として「体外計測に関する標準計測法の策定に関する専門研究会」を設置し、主として現存被ばく状況における住民の内部被ばく検査を行うための技術的指針の策定に向けた現状調査と技術的課題の検討を行うこととした。想定される具体的な検討項目は以下の通りである。

- ①内部被ばく線量測定装置の区分と要求性能
- ②点検、校正等を含む維持管理のあり方
- ③住民の内部被ばく線量測定を行う際の線量評価の考え方
- ④測定結果の記録と説明
- ⑤その他

3. 計画の概要

平成 24 年度 W B C の現状調査と問題点の把握

平成 25 年度 現場適応時における問題点調査、技術的指針の取りまとめ

4. 予算

平成 24 年度 200,000 円

平成 25 年度 200,000 円

5. 専門研究会員名

主査： 栗原治（放射線医学総合研究所）

幹事： 仲野高志（放射線医学総合研究所）

専門研究会員：武田浩光（札幌医科大学）、森山竜也（日本原燃株式会社）、浅利靖（北里大学）、宮崎真（福島県立医科大学）、高橋聖（日本原子力研究開発機構）、高田千恵（日本原子力研究開発機構）、木名瀬栄（日本原子力研究開発機構）、柚木彰（産業技術総合研究所）、脇谷雄一郎（日本アイソトープ協会）、飯本武志（東京大学）、杉浦紳之（原子力安全研究協会）、大熊健郎（安西メディカル株式会社）、上野敏弘（東京電力株式会社）、須子雅好（日立アロカメディカル株式会社）、小笠原強二（キャンベラジャパン株式会社）、山田隆志（株式会社アドフューテック）、山田宏治（富士電機株式会社）、岩井敏（原子力安全推進協会）、細井義夫（東北大学）、福田直子（長

崎大学)、水井雅之 (セイコー・イージーアンドジー株式会社)、百瀬琢磨 (日本原子力研究開発機構)、金ウンジュ (放射線医学総合研究所)

6.設置期間

平成 24 年 7 月～平成 26 年 3 月